

中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

no
3

チュウホク ドット コム

TEL 0551-23-3008

FAX 0551-23-3013

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

「地域教育フォーラム」開催される

10月15日(木)に甲斐市の双葉ふれあい文化館で、峡中及び峡北地区の教育関係者311名の方々の参加をえて両地区合同の地域教育フォーラムが開催されました。『中北.COM』第3号は地域教育フォーラム特集号として、当日行われた実践発表と講演の内容をお伝えします。

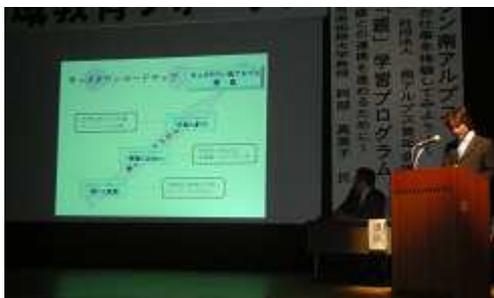
実践発表「『キッズタウン南アルプス』

～なりたいたいお仕事を体験してみよう～

今回の実践発表は、社団法人南アルプス青年会議所による青少年育成事業『キッズタウン南アルプス』についてです。発表の内容は以下のとおりです。

『キッズタウン南アルプス』の理念・構想

この事業は、日本青年会議所の基本理念「明るい豊かな社会を築き上げる」と南アルプス青年会議所のこだわり「地域活性化事業を実施し、市民や行政から信頼を得る」・「夢あるひとつづくり事業への挑戦」が基礎になっています。南アルプス青年会議所は、それを「子どもたちに職業体験の場を提供し、働くことの楽しさ、大切さを伝えていこう!」という『キッズタウン南アルプス』の構想に発展させました。



大変だった準備過程

青年会議所メンバーの情熱が市や教委、諸団体、さらには多くの企業を動かして協力の輪が拡大しました。事業でのバラエティに富

んだ「職業」の選択肢や「お仕事」の楽しさは多くの方々の協力の結果でした。100名の募集定員のところを500名近い応募者が出るうれしい誤算もあるなど、準備過程は大変だったようですが、多くの悩みを乗り越えて開催にこぎ着けました。

楽しみながら学ぶ職業体験

7月12日(日)、櫛形総合体育館で行われた『キッズタウン南アルプス』では、それぞれ2つの職業が体験できる4つのコースが用意されていました。Aコースは消防士・大工さん、Bコースは花屋さん・ネイルアーティスト、Cコースは服飾デザイナー・美容師、Dコースはパティシエ・報道機関です。先生役は、すべてその道のベテランたちです。子どもたちは、プロの技に見入るとともに自分たちも仕事を体験しました。子どもたちの楽しそうな活動風景が写真で紹介されました。最後に仕事で得た対価チケットで買い物をして体験が終了しました。「夢がふくらんだ」、「リアルな体験」、「次回の開催を期待します」等々の声が子どもたちや保護者の皆さんから寄せられました。

県の重点施策を先取り

以上が実践報告ですが、『キッズタウン南アルプス』は「キャリア教育」の実践であり、「地域全体で取り組む教育」の具体化であることにお気づきの方も多いと思います。本年

2月に策定された本県教育振興の基本計画「やまなしの教育振興プラン」で、両者は重点施策にあげられています。民間の方々の自

発的なご努力によりその成果があがっていることに、驚くとともに刺激を受けた教育関係者は多かったのではないのでしょうか。

講演「やまなし『親』学習プログラム

～よりよく親との連携をすすめるために～」

講師の阿部真美子先生は、平成20年3月に発行された山梨県教育委員会編集の冊子「やまなし『親』学習プログラム わいわい子育て親育ち」の作成委員長をつとめられました。阿部先生は、この「やまなし『親』学習プログラム」作成での経験をもとに話を進められました。講演の要旨を紹介します。

「やまなし『親』学習プログラム」

「やまなし『親』学習プログラム」発行の契機・背景は、多くの母親から子育ての不安や悩みが寄せられるようになったことでした。「子育て支援」という概念は現在では国や自治体の重要課題になっていますが、このプログラムはそうした声が出始めたころの全国的に見ても先行的な企画でした。

ところで、今でも子育ては行政まかせにせず自らの問題と考え、当事者同士が助け合いながらやることが重要です。子育ては、創造性に富んだ豊かな体験なのです。そうした点から見て、地域の人々が助け合って子育てに取り組んだ南アルプス青年会議所の『キッズタウン南アルプス』は大変素晴らしい実践です。

「やまなし『親』学習プログラム」の活用

「やまなし『親』学習プログラム」は、乳幼児から高校生までの成長過程を5段階に分け、それぞれの段階での重要テーマについて経験や感想、自分なりの対応を書き込みながら学習していくワークシートの形式をとっています。

学習する上での注意点をあげますと、子どもの自主性を重視すること、自立できる人間として育てるという考え方を持つことです。それは、子どもが自ら成長していく出発点になります。

また、子どもへの声かけでは、肯定的な表現をすることです。例えば、「臆病だね」とい

わずに「慎重だね」、「めそめそして」といわずに「優しいね」といった表現をすることです。そうしたことは、子どもの心を素直にしてくれます。



今後の課題

今後の子育ての課題として子育てのための地域の仲間づくりが大切です。「やまなし『親』学習プログラム」は子育て支援のスタートとなるものです。これをもとに、地域の人々が連携の輪をひろげ、さらには行政とも協力し合う関係に発展することを期待しています。

もう一つの課題として、子育てにおける父親の役割についての問題があります。これまで社会においても、家庭においても子育てでは父親の影は薄いものでした。父親も子育てで役割を果たすことは、父親自身の生活を豊かにしますし、さらに家庭や地域を豊かにするものなのです。

「やまなし『親』学習プログラム わいわい子育て親育ち」は山梨県のホームページで見ることができます。

「やまなし わいわい子育て」で検索してください。URLは、

「<http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/48902642885.html>」です。

若干の残部が中北教育事務所にあります。ご希望の方はお問い合わせください。

平成21年度『中北.COM』 3

編集・発行
中北教育事務所地域教育推進担当

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4
電話 0551-23-3008
ファクス 0551-23-3013

『中北.COM』は中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。
アドレスは次のとおりです。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>